普天間基地の危険性を一日も早く除去し、

経済振興と辺野古の米軍基地に統合縮小を実現するための署名

現在の沖縄には様々な問題が山積している。中でも、喫緊の課題は「基地問題」であり、とりわけ、「普天間基地の危険性の除去」と「米軍基地の負担軽減」が求められてきたが、未だ実現を見ていない。

平成二十五年三月二十二日、政府は辺野古の「公有水面埋立承認申請書」を沖縄県に提出した。この機会を逃せば、「普天間基地の移設」はなく、実質的な「普天間基地の固定化」に繋がりかねない。

県外移設、撤去等の意見もあるが、現実を直視し、実現可能な方法で段階的に解決していく方が、結果的には「基地問題」の早期解決に繋がり、経済振興を促進させることになる。そこで改めて、

一、県民の願いである「普天間基地の危険性の除去」と「米軍基地の負担軽減」を一日も早く実現するために、実現可能な現実的対応を取る。

二、そのためには、「辺野古の米軍基地に統合縮小すること」が最も有力な方法であり、政府より県に提出された辺野古の「公有水面埋立承認申請書」を速やかに承認する。

三、基地問題を解決することにより、地域の経済振興を速やかに促進させる。

右記の三点を強く要望する。

沖縄県知事
仲井眞 弘多 殿

普天間基地の危険性を除去し辺野古の米軍基地に統合縮小を実現する署名推進委員会
代表　中地 昌平（元第一製糖株式会社会長）

取扱者名（団体・個人）
住　所
電話番号

氏　名	住　所

（お願い）この署名用紙は、右の取扱者（団体・個人）宛にご送付頂くか、または「基地統合縮小実現県民の会」までご送付下さい。
（「県民の会」の住所　〒九〇〇-〇〇三七　那覇市辻二-七-十四-二〇一　電話〇九八-八六七-四〇一八）
尚、この署名の個人情報は、厳正に管理させて頂きます。